

Electret Condenser Microphone

取扱説明書 **Operating Instructions** **Mode d'emploi** **Bedienungsanleitung** **Istruzioni per l'uso** **Manual de instrucciones** **使用说明书**

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよく読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ECM-680S

 Sony Corporation ©2007 Printed in Japan
 3 2 7 2 1 2 2 0 5⁽¹⁾

安全のために

ソニー製品は安全に充分に配慮して設計されています。しかし、製品は、まちがった使用かたをすると、けがにつながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 「安全のために」の注意事項を守る。**
- 長期間安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。**点検の内容や費用については、お買い上げ店にご相談ください。
- 故障したら速やかに、お買い上げ店にご相談ください。**

警告表示の意味 <div>この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。</div>	注意を促す記号 <div> 注意</div>
注意 <div>この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。</div>	行為を禁止する記号 <div> 分解禁止</div>
注意 <div>この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。</div>	行為を指示する記号 <div> 指示</div>

注意 <div>下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。</div>	注意 <div>下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。</div>
集音以外の目的に使用しない <div>集音以外の目的でご使用になりますと、思わぬ事故、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>
雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほごりの多い場所に設置しない <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>
使用時は周囲の状況に注意を払う <div>周囲の状況を把握しないままご使用になりますと、事故やけがなどの原因となります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>
運転時には、接続ケーブルを取り外す <div>本機を運搬する際には、接続ケーブルを必ず取り外してください。接続ケーブルに引っ掛かると、転倒や落下の原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>

分解や改造をしない <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>
分解禁止 <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>

分解や改造をしない <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>
分解禁止 <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>

分解や改造をしない <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>
分解禁止 <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>

分解や改造をしない <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>
分解禁止 <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>

分解や改造をしない <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>
分解禁止 <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>

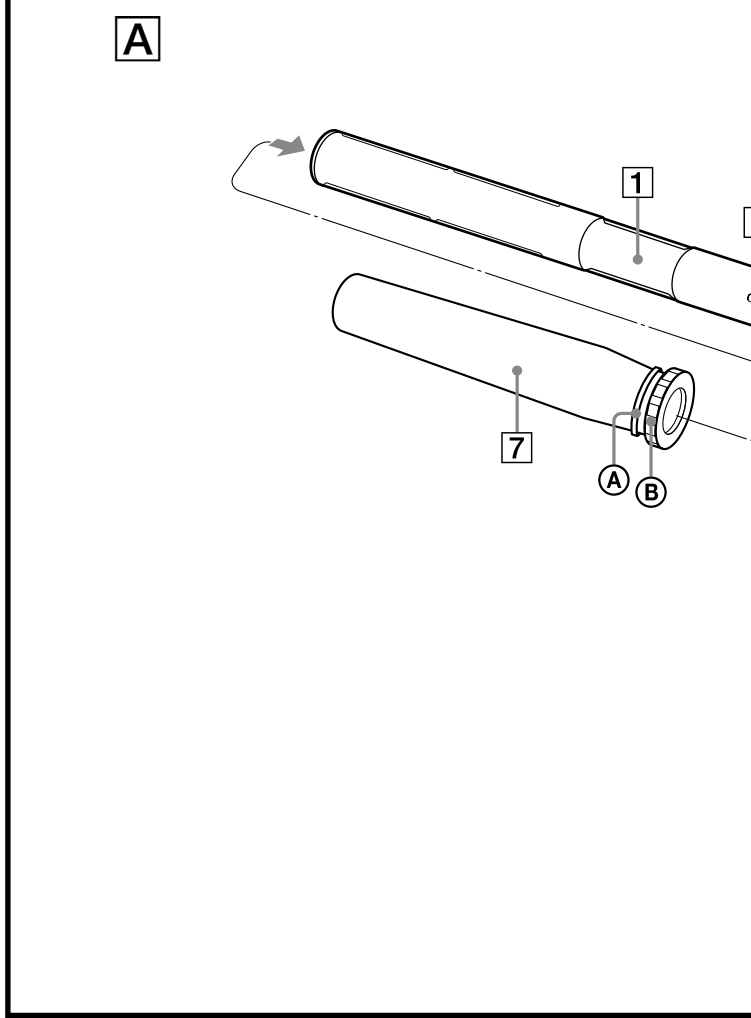
分解や改造をしない <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>
分解禁止 <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>

分解や改造をしない <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>
分解禁止 <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>

分解や改造をしない <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>
分解禁止 <div>分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。</div>	注意 <div>上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</div>

お買い上げの際は「**ソニー業務用商品相談窓口のご案内窓口へ**

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1 http://www.sony.net/



日本語	日本語
お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。	お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
主な特長	主な特長
<ul style="list-style-type: none">集音モード切り換え方式 <p>ステレオ時： MS方式の採用により、自然な音色と定位が得られます。</p> <p>モノラル時： 鋭指指向性を持ち、狭角度集音を可能にします。</p>	<ul style="list-style-type: none">小型・軽量 <p>全長250mm、重さ105gで、使いやすく持ち運びに便利です。</p>
<ul style="list-style-type: none">不要なノイズや低音域をカットするローカットスイッチ付き <p>風や振動による雑音を低減します。</p>	<ul style="list-style-type: none">不要なノイズや低音域をカットするローカットスイッチ付き <p>風や振動による雑音を低減します。</p>
<ul style="list-style-type: none">外部給電方式専用マイク <p>駆動電源電圧DC 40V～52Vの外部電源方式に対応しています。</p>	<ul style="list-style-type: none">外部給電方式専用マイク <p>駆動電源電圧DC 40V～52Vの外部電源方式に対応しています。</p>

各部の名称と使いかた (図 A)

(次の番号と図の番号を照らし合わせてご覧ください。)

- マイク本体
- LOW CUTスイッチ

風雑音等を効果的にカットします。

M (☑)： 標準特性

V (☒)： LOW CUT特性
- ST/MONOスイッチ

集音モードの切り換えます。

ST： ステレオ集音モードになります。

MONO： モノラル(鋭指指向性)集音モードになり、音声はチャンネルからのみ出力されます。STEREOインジケータ**[4]**は消灯します。
- 注
 - ST/MONOスイッチが「ST」に設定されているときにRチャンネルへの電源供給をオフにすると、本機はモノラル集音モードに切り換わります。
 - 集音モード(ST/MONO)を切り換えときに、雑音が発生することがあります。
 - 本機が業務用カムコーダー HDW-F900R、HDW-790またはPDW-F350/F330に接続されているとき、ST/MONOスイッチが「ST」に設定されている場合は、カムコーダー側のメニュー操作でモノラル集音モードへの切り換えが可能です。
 - 詳しくは、「集音モードについて」をご覧ください。
- STEREOインジケータ

マイク本体が「ST」集音モードのときに点灯します。ただし、外部電源機器からRチャンネルへの電源供給がないときは点灯しません。
- 出力端子(XLR 5-12Cタイプ)

本機で集音した音声が出されます。また、本機の電源を外部機器より供給します。

 - 詳しくは、「電源について」をご覧ください。
- a マイクスピーサー (成型タイプ) / b マイクスピーサー (シートタイプ)

マイクホルダー (カメラに搭載または別売り)を介して、マイクをビデオカメラに取り付けるときに使います。
- ウィンドスクリーン

マイク本体が口にかぶせて使うと、風や息がマイクに直接当たるときに生じる雑音を低減します。使うと、60dB以下(成型タイプ) 60dB以下(開孔率の異なるシートタイプ)の減衰効果があります。締め輪を回して締め付けてから使用してください。
- マイクホルダー

マイクロホンスタンド(別売り)にマイクを取り付けるとき使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けてください。
- 接続コード

本機の出カ端子**[5]**とカムコーダーなどの入力端子を接続します(ケーブル長：380mm)。

注	注
1) 0 dB = 1 V/Pa (1 kHz)	1) 0 dB = 1 V/Pa (1 kHz)
2) 0 dB SPL = 20 μ Pa	2) 0 dB SPL = 20 μ Pa
3) マイクロホンの各方向に風速2 m/secの airflow を当てたとき、マイクロホンに発生する雑音出力の平均値を等価入力音圧に換算した値。(0 dB = 20 μ Pa)	3) マイクロホンの各方向に風速2 m/secの airflow を当てたとき、マイクロホンに発生する雑音出力の平均値を等価入力音圧に換算した値。(0 dB = 20 μ Pa)
仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。	仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。	お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

保証書とアフターサービス	保証書とアフターサービス
保証書	保証書
この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容を正確に読みのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。	この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容を正確に読みのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
アフターサービス	アフターサービス
<ul style="list-style-type: none">調子が悪いときは <ul style="list-style-type: none">この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。 それでも具合が悪いときは <ul style="list-style-type: none">お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。 保証期間中の修理は <ul style="list-style-type: none">保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。 保証期間経過後の修理は <ul style="list-style-type: none">修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。	<ul style="list-style-type: none">調子が悪いときは <ul style="list-style-type: none">この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。 それでも具合が悪いときは <ul style="list-style-type: none">お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。 保証期間中の修理は <ul style="list-style-type: none">保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。 保証期間経過後の修理は <ul style="list-style-type: none">修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

電源について	電源について
このマイクは外部給電方式専用です。接続コード [9] を使って、本機の出カ端子 [5] とカムコーダーのマイク入力端子(XLRタイプ5ピン)を接続します。別売りの5ピン-3ピンx2変換ケーブル(近日発売予定)を使用すると、AC(ワウサラブユニット(ソニー AC-148Fなど)、オーディオミキサー、ビデオカメラなどのXLRタイプ5ピンの入力端子を持たない機器と接続できます。	このマイクは外部給電方式専用です。接続コード [9] を使って、本機の出カ端子 [5] とカムコーダーのマイク入力端子(XLRタイプ5ピン)を接続します。別売りの5ピン-3ピンx2変換ケーブル(近日発売予定)を使用すると、AC(ワウサラブユニット(ソニー AC-148Fなど)、オーディオミキサー、ビデオカメラなどのXLRタイプ5ピンの入力端子を持たない機器と接続できます。
注	注
<ul style="list-style-type: none">このマイクをカムコーダーに接続する前に、カムコーダーに+48 V対応のマイク入力端子があることをあらかじめご確認ください。 このマイクには不平衡型ケーブルは使用できません。必ず平衡型ケーブルを使用してください。	<ul style="list-style-type: none">このマイクをカムコーダーに接続する前に、カムコーダーに+48 V対応のマイク入力端子があることをあらかじめご確認ください。 このマイクには不平衡型ケーブルは使用できません。必ず平衡型ケーブルを使用してください。

注	注
<ul style="list-style-type: none">このマイクをカムコーダーに接続する前に、カムコーダーに+48 V対応のマイク入力端子があることをあらかじめご確認ください。 このマイクには不平衡型ケーブルは使用できません。必ず平衡型ケーブルを使用してください。	<ul style="list-style-type: none">このマイクをカムコーダーに接続する前に、カムコーダーに+48 V対応のマイク入力端子があることをあらかじめご確認ください。 このマイクには不平衡型ケーブルは使用できません。必ず平衡型ケーブルを使用してください。
集音モードについて	集音モードについて
集音モードは、以下の条件の組み合わせによって下表のように変わります。 <ul style="list-style-type: none">カムコーダーのメニュー操作によるフロントマイク集音モードの設定(本機が業務用カムコーダーHDW-F900R、HDW-790またはPDW-F350/F330に接続されている場合)または外部機器からのL/Rチャンネルへの電源供給の状態(その他の機器に接続されている場合) 本機のST/MONOスイッチ[3]の設定	集音モードは、以下の条件の組み合わせによって下表のように変わります。 <ul style="list-style-type: none">カムコーダーのメニュー操作によるフロントマイク集音モードの設定(本機が業務用カムコーダーHDW-F900R、HDW-790またはPDW-F350/F330に接続されている場合)または外部機器からのL/Rチャンネルへの電源供給の状態(その他の機器に接続されている場合) 本機のST/MONOスイッチ[3]の設定

カムコーダーの設定 / L/Rチャンネルへの電源供給状態	ST/MONOスイッチの設定		
Stereo / L: ON R: ON	ST	MONO	
	ステレオ ¹⁾	モノラル ²⁾	
Mono / L: ON R: OFF	モノラル ²⁾	モノラル ²⁾	

- STEREOインジケータ**[4]**は点灯します。
- STEREOインジケータ**[4]**は消灯し、出力はチャンネルのみになります。
- カムコーダーでのメニュー操作について詳しくは、カムコーダーに付属のオペレーションマニュアルをご覧ください。

B	B
使用上のご注意	使用上のご注意
<ul style="list-style-type: none">マイクロホンは敏感です。落としたり、強いショックを与えたりしないようにしてください。 高温多湿、特に気温が60℃以上のところで長時間使用・保存することは避けてください。 使用中、「ヒュー」という音(ハウリング)が発生することがあります。これは、スピーカーから出る音をマイクロホンが拾ってしまったために起こります。これを防ぐには、マイクロホンとスピーカーを向き合わないようにし、その距離をできるだけ離してください。	<ul style="list-style-type: none">マイクロホンは敏感です。落としたり、強いショックを与えたりしないようにしてください。 高温多湿、特に気温が60℃以上のところで長時間使用・保存することは避けてください。 使用中、「ヒュー」という音(ハウリング)が発生することがあります。これは、スピーカーから出る音をマイクロホンが拾ってしまったために起こります。これを防ぐには、マイクロホンとスピーカーを向き合わないようにし、その距離をできるだけ離してください。
主な仕様	主な仕様
形式	バックエレクトレットコンデンサー型
ステレオ方式	MS (Mid-Side)ステレオ型
電源	外部供給方式 DC 40～52 V
消費電流	ステレオ時： 4 mA以下×2チャンネル <p>モノラル時： 4 mA以下</p>
出力端子	キャン XLR 5-12C タイプ
外形寸法	φ20×250 mm
質量	約105g
付属品	ウィンドスクリーン(1)、マイクホルダー (1)、マイクスベーター (2)、接続コード(1)、スタンドアダプター (2)、キャリングケース(1)、取扱説明書(1)、保証書(1)
以下	以下の項目はJIS C-5502:1991 マイクロホン工業規格に準拠して試験したものです。
周波数特性	ステレオ時： 50 Hz～20,000 Hz <p>モノラル時： 40 Hz～20,000 Hz</p>
指向特性	ステレオ時： 単一指向性 <p>モノラル時： 鋭指指向性</p>
出カインピーダンス	100 Ω ±20% (1 kHz以下)
正面感度	ステレオ時： -28 dB ¹⁾ ±3 dB <p>モノラル時： -32 dB¹⁾±3 dB</p>
雑音	ステレオ時： 73 dB以上 <p>モノラル時： 74 dB以上 (IEC 179 A-weighted, 1 kHz, 1 Pa)</p> <p>固有雑音：ステレオ時：21 dB SPL¹⁾以下 <p>モノラル時：20 dB SPL¹⁾以下</p></p>
最大入力音圧レベル	約105g
ダイナミックレンジ	ステレオ時： 103 dB以上 <p>モノラル時： 104 dB以上</p>
許容動作温度	0℃～+50℃
許容保存温度	-20℃～+60℃

1) 0 dB = 1 V/Pa (1 kHz)

2) 0 dB SPL = 20 μ Pa

3) マイクロホンの各方向に風速2 m/secの airflow を当てたとき、マイクロホンに発生する雑音出力の平均値を等価入力音圧に換算した値。(0 dB = 20 μ Pa)

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容を正確に読みのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときは
 - この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合が悪いときは
 - お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は
 - 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
 - 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

Power Supply	Power Supply
This microphone is powered only from an external power supply. Use the connecting cord [9] to connect the output connector [5] to the microphone input connector (XLR-type, 5-pin) on the camcorder. If you are using an optional 5-pin to 3-pin x2 conversion cable (available in the near future), you can connect the microphone to a device that has no XLR-type, 5-pin input connector, such as an AC power supply unit, an audio mixer, or a video camera.	This microphone is powered only from an external power supply. Use the connecting cord [9] to connect the output connector [5] to the microphone input connector (XLR-type, 5-pin) on the camcorder. If you are using an optional 5-pin to 3-pin x2 conversion cable (available in the near future), you can connect the microphone to a device that has no XLR-type, 5-pin input connector, such as an AC power supply unit, an audio mixer, or a video camera.
Notes	Notes
<ul style="list-style-type: none">Before connecting the microphone to a camcorder, check that the camcorder is equipped with the +48 V microphone input connector. An unbalanced cable cannot be connected to this microphone. Be sure to use a balanced microphone cable.	<ul style="list-style-type: none">Before connecting the microphone to a camcorder, check that the camcorder is equipped with the +48 V microphone input connector. An unbalanced cable cannot be connected to this microphone. Be sure to use a balanced microphone cable.

Sound Pickup Mode	Sound Pickup Mode	
The sound pickup mode is determined by the following conditions, as shown in the table below. <ul style="list-style-type: none">By the front microphone sound pickup mode set by menu operation on the camcorder (when the microphone is connected to an HDW-F900R, HDW-790, or PDW-F350/F330 professional camcorder) or by the status of the power supply to the L and R channels of the microphone (when the microphone is connected to another type of device) By the setting of the ST/MONO switch [3]	The sound pickup mode is determined by the following conditions, as shown in the table below. <ul style="list-style-type: none">By the front microphone sound pickup mode set by menu operation on the camcorder (when the microphone is connected to an HDW-F900R, HDW-790, or PDW-F350/F330 professional camcorder) or by the status of the power supply to the L and R channels of the microphone (when the microphone is connected to another type of device) By the setting of the ST/MONO switch [3]	
Camcorder setting / power supply status	ST/MONO switch setting	
Stereo / L: on R: on	ST	MONO
	ステレオ ¹⁾	モノラル ²⁾
Monaural / L: on R: off	モノラル ²⁾	モノラル ²⁾

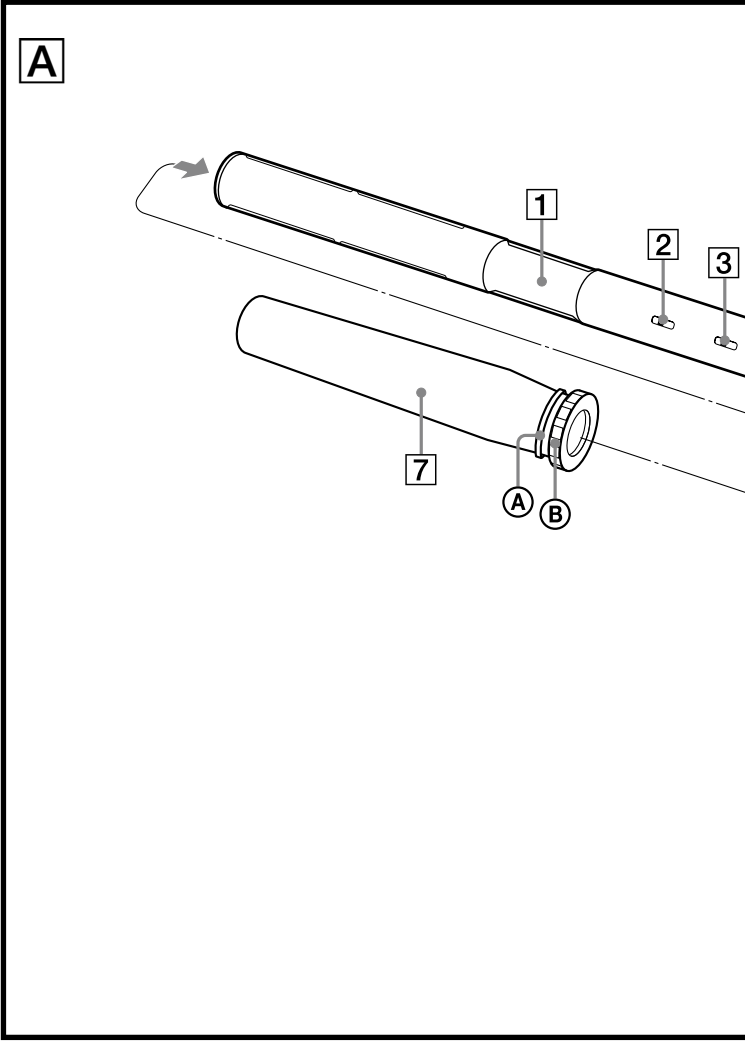
- The STEREO indicator **[4]** lights up.
- The STEREO indicator **[4]** turns off and audio is output from the L channel only.

For details on the menu operation on the camcorder, refer to the operation manual supplied with the camcorder.

C	C
Features	Features
<ul style="list-style-type: none">Switchable sound pickup modes Stereo mode: For capturing natural sound quality with excellent localization using the MS (Mid-Side) system. Monaural mode: For capturing highly directional sound within a narrow range.	<ul style="list-style-type: none">Switchable sound pickup modes Stereo mode: For capturing natural sound quality with excellent localization using the MS (Mid-Side) system. Monaural mode: For capturing highly directional sound within a narrow range.
<ul style="list-style-type: none">Compact and lightweight Owing to its small dimensions of 20 dia. × 250 mm and weight of 105 g, the microphone can be used and carried easily.	<ul style="list-style-type: none">Compact and lightweight Owing to its small dimensions of 20 dia. × 250 mm and weight of 105 g, the microphone can be used and carried easily.
<ul style="list-style-type: none">LOW CUT switch which cuts unnecessary low frequency The low cut filter reduces the noise occurring due to wind or vibration.	<ul style="list-style-type: none">LOW CUT switch which cuts unnecessary low frequency The low cut filter reduces the noise occurring due to wind or vibration.
<ul style="list-style-type: none">External power supply The microphone can be powered on an external power supply of 40 V to 52 V DC.	<ul style="list-style-type: none">External power supply The microphone can be powered on an external power supply of 40 V to 52 V DC.

Notes on Use	Notes on Use
<ul style="list-style-type: none">Microphones are delicate. Do not drop or subject it to excessive shock. Avoid extended usage or storage in high humidity or temperatures above 60 °C (140 °F). If acoustic feedback occurs during use (a howling sound is heard from the speakers), point the microphone away from the speakers or increase the distance between the microphone and the speakers.	<ul style="list-style-type: none">Microphones are delicate. Do not drop or subject it to excessive shock. Avoid extended usage or storage in high humidity or temperatures above 60 °C (140 °F). If acoustic feedback occurs during use (a howling sound is heard from the speakers), point the microphone away from the speakers or increase the distance between the microphone and the speakers.
Specifications	Specifications
General	Back electret condenser microphone
Type	MS (Mid-Side) stereo microphone
Power supply	External power supply operation 40 V to 52 V DC
Power consumption	Stereo: 4 mA or less × 2ch; Monaural: 4 mA or less
Output connector	Canon XLR 5-12C type
Dimensions	20 dia. × 250 mm (7/16 dia. × 9 7/16 in.)
Mass	Approx. 105 g (3.7 oz)
Supplied accessories	Microphone holder (1), microphone spacer (2), connecting cord (1), stand adapter (2), carrying case (1), Operating Instructions (1), warranty booklet (1)
Performance	
Frequency response	Stereo: 50 Hz to 20,000 Hz; Monaural: 40 Hz to 20,000 Hz
Directivity	MONO: Uni-directional; Monaural: Super cardioid
Output impedance	100Ω ±20%, balanced (at 1 kHz)
Sensitivity	Stereo: -28 dB ¹⁾ ±3 dB; Monaural: -32 dB ¹⁾ ±3 dB
Signal-to-noise ratio	Stereo: 73 dB or more; Monaural: 74 dB or more (IEC 179, A-weighted, 1 kHz, 1 Pa)
Inherent noise	Stereo: 21 dB SPL ²⁾ or less; Monaural: 20 dB SPL ²⁾ or less
Wind noise ³⁾	55 dB SPL or less (with wind screen); 60 dB SPL or less (without wind screen) ²⁾
Induction noise from external magnetic field	0 dB SPL/1 × 10 ⁻⁷ (1 mG)
Maximum input sound pressure level	124 dB SPL ¹⁾ (input level for 1% waveform distortion at 1 kHz, converted into equivalent input sound pressure level)
Dynamic range	Stereo: 103 dB or more; Monaural: 104 dB or more
Operating temperature	0 °C to +50 °C (32 °F to 122 °F)
Storage temperature	-20 °C to +60 °C (-4 °F to 140 °F)
1) 0 dB = 1 V/Pa (1 kHz)	1) 0 dB = 1 V/Pa (1 kHz)
2) 0 dB SPL = 20 μ Pa	2) 0 dB SPL = 20 μ Pa
3) Wind noise is the value measured by applying a wind velocity of 2 m/sec. (6.6 ft/s) to the microphone from all directions. The mean value is taken and converted to the equivalent sound pressure level. (0 dB = 20 μ Pa)	3) Wind noise is the value measured by applying a wind velocity of 2 m/sec. (6.6 ft/s) to the microphone from all directions. The mean value is taken and converted to the equivalent sound pressure level. (0 dB = 20 μ Pa)

Design and specifications are subject to change without notice.	Design and specifications are subject to change without notice.
Note	Note
Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.	Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR RE



Deutsch

Vor dem Betrieb des Mikrofons lesen Sie bitte diese Anleitung gründlich durch. Bewahren Sie die Anleitung zum Nachschlagen auf.

Für Kunden in Europa

Dieses Produkt besitzt die CE-Kennzeichnung und erfüllt die EMV-Richtlinie der EG-Kommission.

Angewandte Normen:

- EN55103-1: Elektromagnetische Verträglichkeit (Störussendung)
- EN55103-2: Elektromagnetische Verträglichkeit (Störfestigkeit)

Für die folgenden elektromagnetischen Umgebungen: E1 (Wohnbereich), E2 (kommerzieller und in beschränktem Maße industrieller Bereich), E3 (Stadtbereich im Freien) und E4 (kontrollierter EMV-Bereich, z.B. Fernsehstudio).

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkats ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst-oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Besondere Merkmale

• **Umschaltbare Tonabnahmehodi**
Stereomodus: Zur Aufnahme natürlicher Tonqualität mit ausgezeichneter Lokalisierung durch das MS (Mid-Side)-System.
Monomodus: Zur Aufnahme äußersten Richtons innerhalb eines engen Bereichs.

• **Kompakt und leicht**

Dank der kompakten Abmessungen von Durchm. 20 × 250 mm und dem geringen Gewicht von 105 g kann das Mikrfon problemlos überall hin mitgenommen werden.

• **LOW CUT-Schalter, der nicht notwendiges Niederfrequenz schneidet**
Der niedrige Schnittfilter verringert das Geräuschaufreten wegen des Winds oder der Erschütterung.

• **Externe Stromversorgung**
Das Mikrfon kann problemlos von einer externen Gleichspannungsquelle von 40 V bis 52 V versorgt werden.

Bezeichnungen und Funktionen der Teile (Abb. A)

(Die Nummern entsprechen den jeweiligen Nummern in der Abbildung.)

- Mikrofon**
- LOW CUT-Schalter**
Der Low-Cut-Filter verringert wirksam Windgeräusche.
M (☞): Normaleinstellung
V (☞): Der Low-Cut-Filter wird angelegt.
- ST/MONO-Schalter**
Schalten des Tonabnahmehodus
ST: Stereomodus
MONO: Mono-(unidirektionaler) Modus; es wird nur vom Kanal L Ton ausgegeben und die STEREO-Anzeige **[4]** erlischt.
Hinweise
 - Wenn die Stromzufuhr von Kanal R unterbrochen wird, während der ST/MONO-Schalter auf „ST“ steht, schaltet das Mikrfon auf Monomodus.
 - Rauschen kann auftreten, wenn der Tonaufnahmehodus umgeschaltet wird.
- STEREO-Anzeige**
Leuchtet, wenn das Mikrfon auf Stereomodus steht; erlischt jedoch, wenn die Stromzufuhr vom externen Gerät zum Kanal R unterbrochen wird.
- Ausgangsanschluss (Typ XLR-5-12C)**
Von diesem Anschluss wird die Tonabnahme vom Mikrfon zum externen Gerät übertragen und das Mikrfon vom Mikrfon mit Strom versorgt.
Hinweise
 - Wird das Mikrfon an einen Professional Camcorder HDW-F900R, HDW-790 oder PDW-F350/F330 angeschlossen, kann über eine Menüfunktion des Camcorders Monomodus eingestellt werden. Einzelheiten siehe „Tonabnahmehodus“.

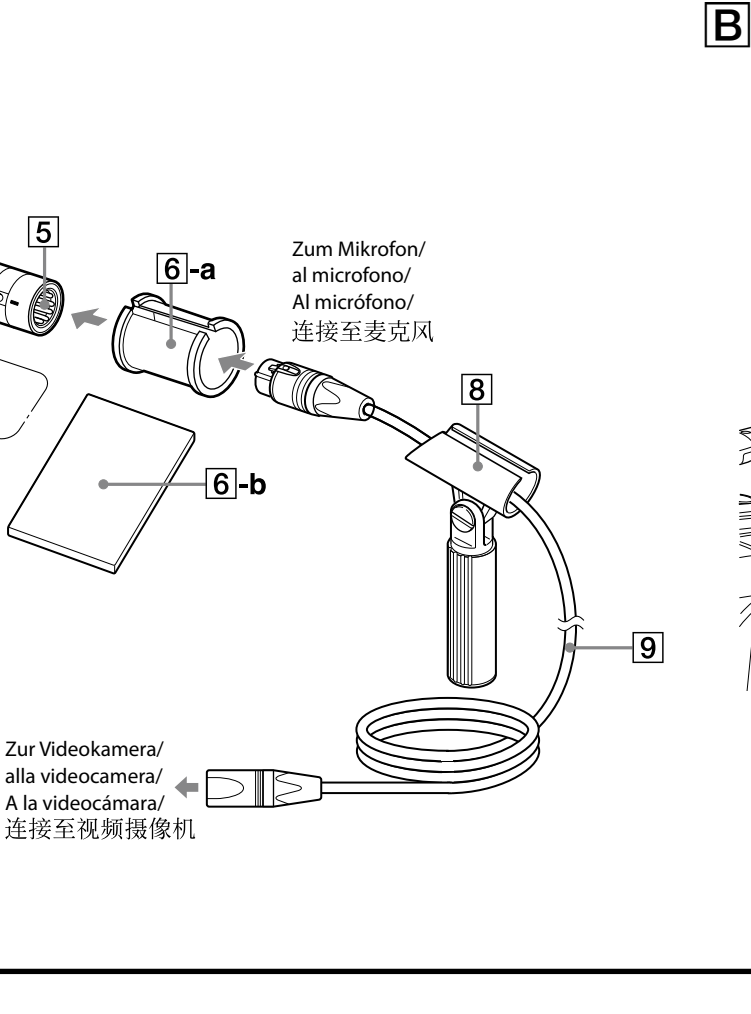
- STEREO-Anzeige**
Leuchtet, wenn das Mikrfon auf Stereomodus steht; erlischt jedoch, wenn die Stromzufuhr vom externen Gerät zum Kanal R unterbrochen wird.
- Windschutz**
Am Mikrfon **[1]** anbringen, um Wind- oder Atemgeräusche zu reduzieren. Nach dem Anbringen des Mikrofons auf eine Weise, so dass der untere Teil des Windschutzes **[2]** das SONY-Logo am Mikrfon abdeckt, halten Sie das Mikrfon am unteren Teil des des Windschutzes und ziehen den Ring **[3]** zur Befestigung des Windschutzes am Mikrfon fest.
- Mikrofonhalter**
Bei Verwendung eines Mikrofonständers (nicht mitgeliefert) bringen Sie den Halter am Mikrfon an. Wenn die Winkeleinstellschraube locker geworden ist, mit einer Münze festziehen.
- Erbindungskabel**
Dient zum Verbinden des Ausgangsanschlusses **[5]** mit dem Eingangsanschluss eines externen Geräts wie eines Camcorders (Kabellänge: 380 mm).

Anbringen an einer Videokamera (Abb. B)

Beim Anbringen des Mikrofons an eine Videokamera mit einem Mikrofonhalter (dem an der Kamera angebracht oder einem optionalem), bringen Sie das Distanzstück am Griff des Mikrofons an. Sollte die Gefahr bestehen, dass der Camcorder Vibrationen ausgesetzt wird, verwenden Sie stattdessen den Mikrfon-Abstandhalter (rundlich) **[6-b]**. Entfernen Sie die zwei Treibblätter **[2]** und wickeln Sie den Abstandhalter um den Mikrofonhalter **[3]**.

Anbringen des Mikrofons danach am Halter so an, dass die Markierung „UP“ am Mikrfon nach oben weist, um richtige Ausrichtung zu erhalten.

A



Das Mikrfon kann nur von einer externen Stromquelle versorgt werden. Verbinden Sie mit dem Anschlusskabel **[9]** den Ausgangsanschluss **[6]** mit dem Mikrofoneingangsanschluss (Typ XLR-5-polig) des Camcorders. Wenn man ein optionales Umwandlungskabel von 5 Polen auf 3 Pole x2 verwendet (das erhältlich), kann man das Mikrfon an Geräte ohne 5-poligen Eingangsanschluss des Typs XLR wie eine Wechselstromquelle, ein Audiomischpult oder eine Videokamera anschließen.

Hinweise

• Bevor Sie das Mikrfon an einen Camcorder anschließen, prüfen Sie, ob der Camcorder mit dem +48 V Mikrofon-Eingang Stecker ausgerüstet wird.

• Ein unsymmetrisches Kabel kann nicht an dieses Mikrfon angeschlossen werden. **Verwenden Sie immer ein symmetrisches Mikrofonkabel.**

Tonabnahmehodus

Der Tonabnahmehodus unterliegt wie auf untenstehender Tabelle dargestellt folgenden Bedingungen.

• Von dem über die Menüfunktion des Camcorders eingestellten Mikrofon-Tonabnahmehodus (wenn das Mikrfon an einen Professional Camcorder HDW-F900R, HDW-790 oder PDW-F350/F330 angeschlossen ist) oder von dem Stromversorgungsstatus der Kanäle L und R des Mikrofons (wenn das Mikrfon an andere Gerätetypen angeschlossen ist).

• Von der Einstellung des ST/MONO-Schalters **[3]**

Camcorder-Einstellung / Stromversorgungsstatus	ST/MONO-Schalterstellung		
	ST	MONO	
Stereo / L: ein; R: ein	Stereo ¹⁾	Mono ²⁾	
Mono / L: ein; R: aus	Mono ²⁾	Mono ²⁾	

1) Die STEREO-Anzeige **[4]** erlischt.
2) Die STEREO-Anzeige **[4]** leuchtet und es wird nur von Kanal L Ton ausgegeben.

Einzelheiten zu den Menüfunktionen des Camcorders entnehmen Sie bitte der dem Camcorder beiliegenden Bedienungsanleitung.

Hinweise zur Verwendung

• Mikrofone sind empfindlich. Nicht fallenlassen und vor Stößen schützen.
• Vermeiden Sie längere Verwendung oder Lagerung des Mikrofons bei hoher Luftfeuchtigkeit oder Temperaturen über 60°C.
• Wenn bei der Verwendung akustische Rückkopplung auftritt (es kommen Heulgeräusche von den Lautsprechern), richten Sie das Mikrfon von den Lautsprechern weg, oder halten Sie es weiter von den Lautsprechern entfernt.

Technische Daten

Allgemeines	Back-Electret-Kondensatormikrofon
Typ	MS (Mid-Side)-Stereomikrofon
Stromversorgung	Externe Stromversorgung 40 V bis 52 V Gleichstrom
Stromverbrauch	Stereo: 4 mA oder weniger x 2Kan.; Mono: 4 mA oder weniger
Ausgangsanschluss	Canon Typ XLR-5-12C
Abmessungen	20 Durchm. × 250 mm
Gewicht	105 g
Mitgeliefertes Zubehör	Windschutz (1), Mikrofonhalter (1), Mikrofon-Distanzstück (2), Verbindungskabel (1), Standadapter (2), Tragegelfalt (1), Bedienungsanleitung (1), Garantieheft (1)
Leistung	Stereo: 50 Hz bis 20.000 Hz; Mono: 40 Hz bis 20.000 Hz
Frequenzgang	Stereo: Unidirektional; Mono: Supercardioid 100Ω ±20%, symmetrisch (bei 1 kHz)
Richtcharakteristik	Stereo: -28 dB ¹⁾ ±3 dB; Mono: -32 dB ¹⁾ ±3 dB
Ausgangsimpedanz	STEREO: 73 dB oder mehr; Mono: 74 dB oder mehr (IEC 179, A-gewichtet, 1 kHz, 1 Pa)
Empfindlichkeit	Stereo: 21 dB SPL ²⁾ oder weniger; Mono: 20 dB SPL ²⁾ oder weniger
Signal-/Rauschabstand	55 dB SPL oder weniger (mit Windschutz); 60 dB SPL oder weniger (ohne Windschutz) ³⁾
Grundrauschen	21 dB SPL ²⁾ oder weniger
Windrauschen ³⁾	55 dB SPL oder weniger (mit Windschutz); 60 dB SPL oder weniger (ohne Windschutz) ³⁾
Induktionsrauschen von externem Magnetfeld	0 dB SPL/1 × 10 ⁻² (1 mG)
Maximaler Eingangsschalldruckpegel	124 dB SPL ²⁾ (Eingangsspegel bei 1% Wellenformverzerrung bei 1 kHz, umgewandelt in entsprechenden Eingangsschalldruckpegel)
Dynamikumfang	Stereo: 103 dB oder mehr; Mono: 104 dB oder mehr
Betriebstemperatur	0°C bis +50°C
Lagertemperatur	−20°C bis +60°C

- 1) 0 dB = 1 V/Pa (1 kHz)
- 2) 0 dB SPL = 20µ Pa
- 3) Zur Messung des Windgeräusches wird das Mikrfon einem Wind mit einer Geschwindigkeit von 2 m/s aus allen Richtungen ausgesetzt. Der Durchschnittswert wird dann in den äquivalenten Schalldruckpegel umgerechnet. (0 dB = 20µ Pa)

Änderungen, die der technischen Weiterentwicklung dienen, bleiben vorbehalten.

Hinweis

Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. **SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.**

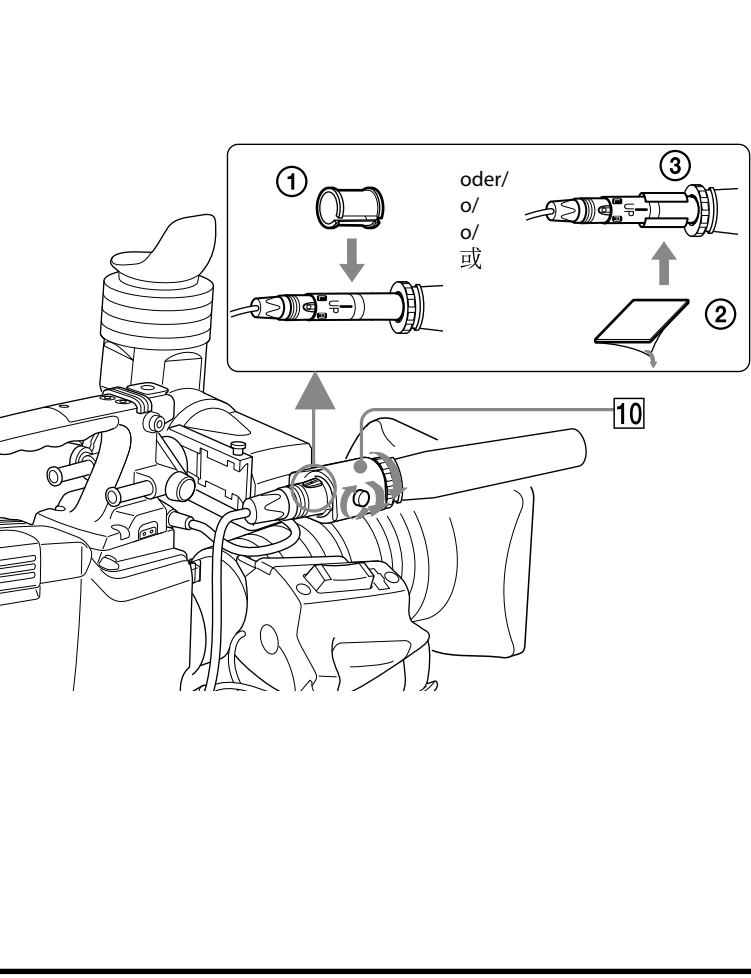
Italiano
Prima di usare il microfono, leggere con attenzione questo manuale. Consultare questo manuale per eventuali riferimenti futuri.

Per i clienti in Europa

Questo prodotto reca il marchio CE e conforme sia alla direttiva sulla compatibilità elettromagnetica (EMC) emessa dalla Commissione della Comunità Europea

La conformità a queste direttive implica la conformità alle seguenti normative europee:

B



• EN55103-1: Interferenza elettromagnetica (Emissione)
• EN55103-2: Sensibilità ai disturbi elettromagnetici (Immunità)
Questo prodotto è destinato all'uso nei seguenti ambienti elettromagnetici: E1 (residenziali), E2 (commerciali e industriali leggeri), E3 (esterni urbani) e E4 (ambienti EMC controllati, ad esempio studi televisivi).

Per i clienti in Europa

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Giappone.

La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

Caratteristiche

• **Modalità di rilevamento del suono intercambiabili**
Modalità stereo: Per la cattura di qualità audio naturale con eccellente localizzazione, tramite il sistema MS (Mid-Side).
Modalità mono: Per la cattura di audio altamente direzionale all'interno di una gamma ristretta.

• **Compatto e leggero**
Grazie alle sue ridotte dimensioni di 20 mm di diametro × 250 mm e grazie al suo peso di 105 g, il microfono può essere utilizzato e trasportato facilmente.

• **Interruttore di filtro low cut che taglia a bassa frequenza inutile**
Il filtro basso del taglio riduce l'avvenimento di rumore dovuto vento o la vibrazione.

• **Alimentatore esterno**
Il microfono viene facilmente alimentato da un alimentatore esterno CC di 40 V a 52 V.

Nomi e funzioni delle parti (Fig. A)

(I numeri indicano i numeri corrispondenti nella figura.)

- Microfono**
- Interruttore di filtro low cut (LOW CUT)**
Il filtro low cut riduce efficacemente il rumore eolico.
M (☞): Regolazione normale
V (☞): Il filtro low cut viene applicato.
- Interruttore ST/MONO**
Per la commutazione della modalità di rilevamento del suono.
ST: Modalità stereo
MONO: Modalità mono (unidirezionale); l'audio viene emesso solo dal canale L e l'indicatore STEREO **[4]** si spegne.
- Note**
 - Se l'alimentazione al canale R viene interrotta mentre l'interruttore ST/MONO è impostato su "ST", il microfono passa ad una modalità mono.
 - Potrebbe essere generato rumore quando la modalità di rilevamento del suono viene commutata.
 - Quando il microfono è collegato ad un camcorder professionale HDW-F900R, HDW-790 o PDW-F350/F330, la modalità mono può essere selezionata tramite il menu sul camcorder.

Per maggiori dettagli, vedere "Modalità di rilevamento del suono".

- Indicatore STEREO**
Si accende quando il microfono è impostato sulla modalità stereo e si spegne quando viene interrotta l'alimentazione dalla periferica esterna al canale R.
- Connettore di uscita (tipo XLR-5-12C)**
Questo connettore trasmette l'audio dal microfono alla periferica esterna e l'alimentazione elettrica dalla periferica esterna al microfono.
Per maggiori dettagli, vedere "Alimentazione elettrica".
- a-Distanziatore per microfono (tipo modelato)/b-Distanziatore per microfono (tipo a foglio)**
Quando si applica il microfono ad una videocamera usando un portamicrofono (quello montato sulla videocamera o uno opzionale), applicare il distanziatore all'imppugnatura del microfono.
- Antisoffio**
Applicarlo al microfono **[1]** per ridurre il rumore eolico o il rumore del respiro. Dopo aver applicato l'antisoffio al microfono in un modo che la parte inferiore dell'antisoffio **[2]** copra il logo SONY sul microfono, tenere il microfono per la parte inferiore dell'antisoffio e stringere l'anello **[3]** per fissare l'antisoffio al microfono.
- Portamicrofono**
Quando si usa un supporto microfono (non in dotazione), applicare il portamicrofono al microfono. Se la vite per regolare l'angolo si è allentata, stringerla con una moneta.
- Cavo di collegamento**
Serve a collegare il connettore di uscita **[5]** al connettore di entrata su una periferica esterna, come un camcorder (lunghezza del cavo: 380 mm).

Applicazione ad una videocamera (Fig. B)

Per applicare il microfono ad una video camera usando un portamicrofono **[1]** (non dotazione),collegare il distanziatore per microfono in dotazione (tipo modelato) **[2]** al microfono **[3]**. Se la vibrazione del camcorder è fastidiosa, usare invece il distanziatore per microfono (tipo modelato) **[6-b]**. Rimuovere i due fogli di protezione **[2]** ed avvolgere lo spaziatore intorno all'imppugnatura del microfono **[3]**.

Collegare il microfono applicare questo al portamicrofono in modo che l'indicazione "UP" sul microfono sia rivolta verso l'alto, in modo da ottenere la direttività corretta.

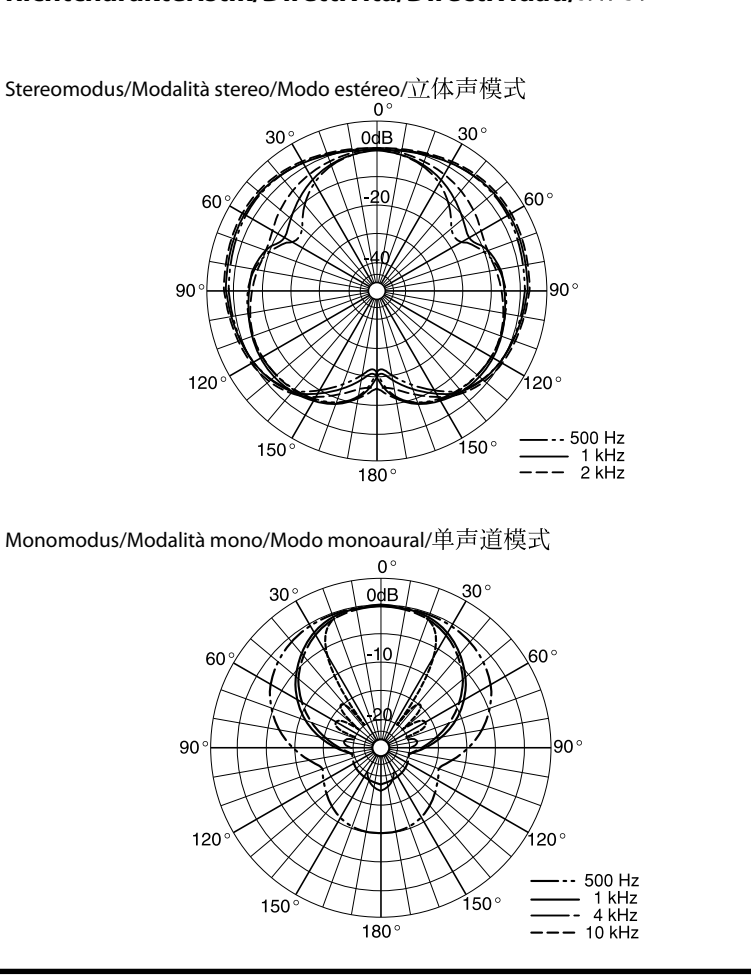
Alimentazione

Questo microfono può essere alimentato soltanto da un alimentatore esterno. Usare il cavo di connessione **[9]** per collegare il connettore di uscita **[5]** al connettore di ingresso del microfono (tipo XLR, 5 pin) sul camcorder. Se si utilizza un cavo di conversione x2 opzionale da 5 a 3 pin (a breve sul mercato), il microfono può essere collegato a una periferica non dotata di connettore di ingresso di tipo XLR a 5 pin, come a un alimentatore CA, a un mixer audio o a una videocamera.

Note

• Prima del collegamento del microfono ad un camcorder, controlli che il camcorder sia fornito del connettore dell'input del microfono di +48 V.
• Un cavo sbilanciato non può essere collegato a questo microfono. **Accertarsi di usare un cavo per microfono bilanciato.**

Richtcharakteristik/Direttività/Directividad/指向性



Modalità di rilevamento del suono

La modalità di rilevamento del suono è determinata dalle condizioni mostrate nella tabella in basso.

• Dalla modalità di rilevamento del suono del microfono anteriore impostata tramite il menu sul camcorder (quando il microfono è collegato ad un camcorder professionale HDW-F900R, HDW-790 o PDW-F350/F330), o dallo stato della fornitura elettrica ai canali L e R del microfono (quando il microfono è collegato ad un altro tipo di periferica).

• Dall'impostazione dell'interruttore ST/MONO **[3]**

Impostazione del camcorder / stato della fornitura elettrica	Impostazione dell'interruttore ST/MONO		
	ST	MONO	
Stereo / L: on; R: on	Stereo ¹⁾	Mono ²⁾	
Mono / L: on; R: off	Mono ²⁾	Mono ²⁾	

1) L'indicatore STEREO **[4]** si accende.
2) L'indicatore STEREO **[4]** si spegne e l'audio viene emesso solo dal canale L.

Per dettagli sull'operazione di menu sul camcorder, fare riferimento al manuale d'uso in dotazione con il camcorder.

Note sull'uso

• I microfoni sono delicati. Non far cadere il microfono e non sottoporlo a forti urti.
• Evitare l'utilizzo o il deposito prolungato in luoghi con elevata umidità o con una temperatura superiore a 60°C.
• Se durante l'uso si verifica il fenomeno della retroazione acustica (un sibilo e udibile dai diffusori), puntare il microfono verso un punto distante dai diffusori o allontanare il microfono dai diffusori.

Caratteristiche tecniche

Dati generali	Microfono a condensatore a elettrete posteriore
Tipo stereo	Microfono stereo MS (Mid-Side)
Alimentazione	Alimentatore esterno CC di 40 V a 52 V
Consumo	Stereo: 4 mA o meno x 2ch; Mono: 4 mA o meno
Connettore di uscita	Typ Canon XLR-5-12C
Dimensioni	20 mm di diametro × 250 mm
Massa	105 g
Accessori in dotazione	Antisoffio (1), portamicrofono (1), distanziatore per microfono (2), custodia di trasporto (1), istruzioni per l'uso (1), libretto di garanzia (1)
Prestazioni	Stereo: da 50 Hz a 20.000 Hz; Mono: da 40 Hz a 20.000 Hz
Risposta in frequenza	Stereo: Unidirezionale; Mono: Supercardioid 100 Ω ±20%, bilanciata (a 1 kHz)
Direttività	Stereo: -28 dB ¹⁾ ±3 dB; Mono: -32 dB ¹⁾ ±3 dB
Impedenza di uscita	STEREO: 73 dB o più; Mono: 74 dB o più (IEC 179, pesato A, 1 kHz, 1 Pa)
Sensibilità	Stereo: 21 dB SPL ²⁾ o meno; Mono: 20 dB SPL ²⁾ o meno (senza schermo eolico) ³⁾
Rapporto segnale/rumore	55 dB SPL o meno (con schermo eolico); 60 dB SPL o meno (senza schermo eolico) ³⁾
Rumore inerente	60 dB SPL o meno (senza schermo esterno)
Rumore eolico ³⁾	0 dB SPL × 10 ⁻² (1 mG)
Rumore per induzione da campo magnetico esterno	0 dB SPL/1 × 10 ⁻² (1 mG)
Rumore per induzione da campo magnetico esterno	124 dB SPL ²⁾ (livello di ingresso per distorsione della forma d'onda dell'1% a 1 kHz, convertito nel livello di pressione acustica di ingresso equivalente)
Gamma dinamica	Stereo: 103 dB o più; Mono: 104 dB o più
Temperatura di impiego	Da 0°C a +50°C
Temperatura di deposito	Da -20°C a +60°C

- 1) 0 dB = 1 V/Pa (1 kHz)
- 2) 0 dB SPL = 20µ Pa
- 3) Il rumore eolico è il valore misurato applicando una velocità del vento di 2 m al secondo al microfono da tutte le direzioni. Il valor medio viene ricavato e convertito nel livello di pressione acustica equivalente (0 dB = 20µ Pa).

Design e caratteristiche tecniche soggetti a modifiche senza preavviso.

Note

Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. **LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.**

 Español
Antes de utilizar el micrófono, lea completamente este manual. Este manual debe guardarse para su referencia en el futuro.

Para los clientes de Europa

Este producto cumple con las directivas de compatibilidad electromagnética de la Comisión Europea.

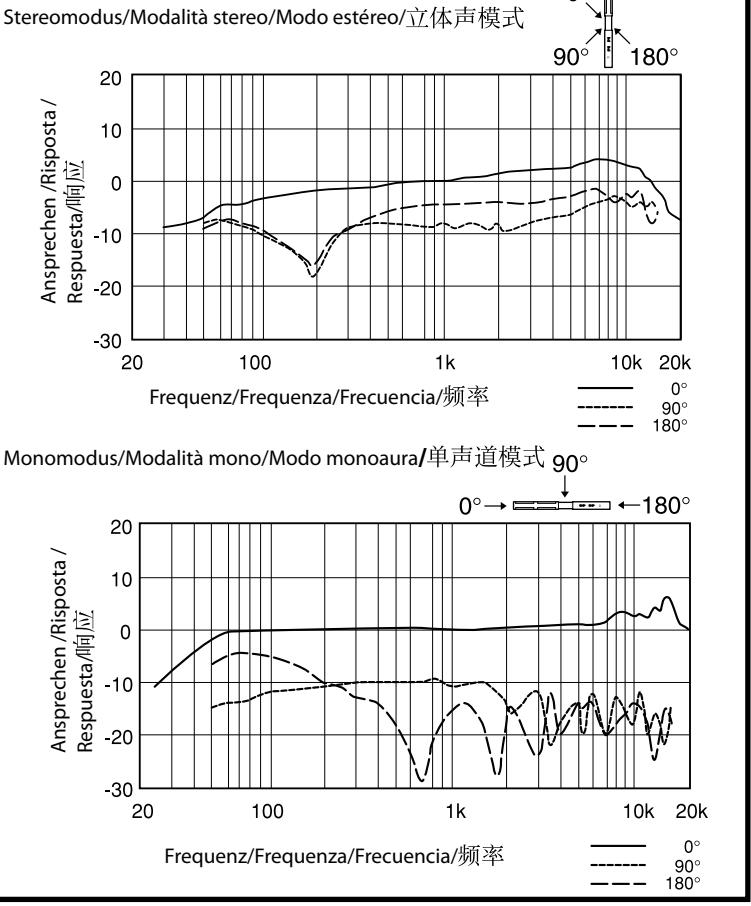
El cumplimiento de estas directivas implica la conformidad con los siguientes estándares europeos:

• EN55103-1: Interferencia electromagnética (Emisión)
• EN55103-2: Susceptibilidad electromagnética (Inmunidad)
Este producto está ha sido diseñado para utilizarse en los entornos electromagnéticos siguientes: E1 (zona residencial), E2 (zona comercial e industrial ligera), E3 (exteriores urbanos), y E4 (entorno con EMC controlada, p. ej., estudio de televisión).

Para los clientes de Europa

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón. El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

Frequenzgang-Eigenschaften/Caratteristiche di rispost in frequenza/Características de respuesta de frecuencia/频率响应特性



Características

• **Modos conmutables de recepción de sonido**
Modo estéreo: Para capturar una calidad de sonido natural con una excelente localización mediante el sistema MS (Mid-Side).
Modo monoaural: Para capturar sonido muy direccional dentro de un rango estrecho.

• **Compacto y ligero**
Debido a su pequeño tamaño de 20 diám × 250 mm y peso de 105 g, el microfono puede utilizarse y llevarse fácilmente.

• **Interrupor LOW CUT que corta frecuencia baja innecesaria**
El filtro bajo del corte reduce ocurrir del ruido debido al viento o a la vibración.

• **Alimentación eléctrica externa**
El microfono puede alimentarse fácilmente de una fuente eléctrica externa de CC de 40 a 52 V.

Nombres y funciones de las piezas (Fig. A)

(Los números se refieren a los correspondientes números en la figura.)

- Microfono**
- Interrupor LOW CUT**
El filtro de corte bajo reduce efectivamente el ruido del viento.
M (☞): ajuste normal
V (☞): Se aplica un filtro de corte bajo.
- Indicador ST/MONO**
Cambia el modo de recepción de sonido.
ST: Modo estéreo
MONO: Modo monoaural (unidireccional); el sonido sólo sale del canal L y el indicador STEREO **[4]** se apaga.
- Notas**
 - Si se corta la alimentación que va al canal R cuando el interruptor ST/MONO está ajustado en "ST", el microfono cambia a modo monoaural.
 - Puede haber ruido cuando se conmuta el modo de recepción de sonido.
 - Cuando el microfono está conectado a la videocámara profesional HDW-F900R, HDW-790 o PDW-F350/F330, se puede seleccionar el modo monoaural mediante la utilización del menú de la videocámara. *Para obtener más información, consulte "Modo de recepción de sonido".*
- Indicador STEREO**
Se ilumina cuando el microfono está ajustado en modo estéreo; sin embargo, se apaga cuando se corta la alimentación que va del dispositivo externo al canal R.
- Conector de salida (tipo XLR-5-12C)**
Este conector transmite la recepción de sonido desde el micrófono hasta el dispositivo externo y alimenta el micrófono desde el dispositivo externo. *Si desea más información, consulte "Alimentación eléctrica".*
- a-Espaciador de microfono (tipo modelado)/b-Espaciador de microfono (tipo hoja)**
Cuando instala el microfono en una videocámara utilizando un soporte de microfono (el que está montado en la cámara o uno opcional), fije el espaciador en la empuñadura del microfono.
- Pantalla contra viento**
Instale en el micrófono **[1]** para reducir el viento o ruido de su respiración. Después de colocar en el micrófono de tal forma que la parte inferior de la pantalla de viento **[2]** cubre el símbolo SONY en el micrófono, sujete el micrófono por la parte inferior de la pantalla de viento y apriete el aro **[3]** para asegurar la pantalla de viento en el micrófono.
- Soporte de micrófono**
Cuando utilice un pedestal de micrófono (no suministrado), instale el soporte en el micrófono. Cuando la vis d'ajustement de l'angle se desserrée, serrez-la avec une pièce de monnaie. Cuando el tornillo de ajuste de ángulo se afloja, apriete con una moneda.
- Cable de conexión**
Utilizado para conectar el conector de salida **[5]** al conector de entrada en un dispositivo externo, como una videocámara (longitud del cable: 380 mm).

Este conector transmite la recepción de sonido desde el micrófono hasta el dispositivo externo y alimenta el micrófono desde el dispositivo externo. *Si desea más información, consulte "Alimentación eléctrica".*

a-Espaciador de microfono (tipo modelado)/b-Espaciador de microfono (tipo hoja)
Cuando instala el microfono en una videocámara utilizando un soporte de microfono (el que está montado en la cámara o uno opcional), fije el espaciador en la empuñadura del microfono.

7) Pantalla contra viento
Instale en el micrófono **[1]** para reducir el viento o ruido de su respiración. Después de colocar en el micrófono de tal forma que la parte inferior de la pantalla de viento **[2]** cubre el símbolo SONY en el micrófono, sujete el micrófono por la parte inferior de la pantalla de viento y apriete el aro **[3]** para asegurar la pantalla de viento en el micrófono.

8) Soporte de micrófono
Cuando utilice un pedestal de micrófono (no suministrado), instale el soporte en el micrófono. Cuando la vis d'ajustement de l'angle se desserrée, serrez-la avec une pièce de monnaie. Cuando el tornillo de ajuste de ángulo se afloja, apriete con una moneda.

9) Cable de conexión
Utilizado para conectar el conector de salida **[5]** al conector de entrada en un dispositivo externo, como una videocámara (longitud del cable: 380 mm).